

三保半島のまち並みに関する市民意識調査結果

1. アンケート調査の概要

(1) 目的

世界文化遺産「富士山」の構成資産「三保松原」への主要なアクセス道路沿道の、将来の望ましい景観と、景観ルールの必要性などについて、三保半島の住民の皆さんの意向を把握することを目的に実施しました。

(2) 調査方法

調査対象	三保半島にお住まいの 20 歳以上の住民
サンプリング条件	住民基本台帳から 500 人をランダムサンプリング
調査内容	○三保半島の目指すまち並みについて ○三保半島のまち並みづくりに関するルールの必要性について ○三保半島のまち並みづくりについて ○属性について
調査期間	平成 26 年 12 月 10 日（水）～平成 26 年 12 月 24 日（水）
配布方法	郵送配布，郵送回収
回収結果	配布数：500 件 回収数：180 件 回収率：36%

(3) アンケート調査結果の表記

- ・表中の「n」は各設問の回答者数，「SA」は単数回答（シングルアンサー），「MA」は複数回答（マルチアンサー）を表しています。
- ・比率は，「n」を 100%とした百分比で算出し，小数点以下第 2 位を四捨五入しました。そのため，百分比の合計が 100%にならない場合があります。
- ・複数回答の設問では，その比率の合計が 100%を上回ることがあります。

(4) 回答者の属性

①性別

性別については、
「女性」が 53.9%、
「男性」が 46.1%となっている。

n=180(SA)

	件数	割合
男性	83	46.1%
女性	97	53.9%
無回答	0	0.0%

②年代

年代については、
「60歳代」が 36.1%で最も高く、
次いで「50歳代」が 21.7%、
「40歳代」が 19.4%
となっている。

n=180(SA)

	件数	割合
20歳代	20	11.1%
30歳代	19	10.6%
40歳代	35	19.4%
50歳代	39	21.7%
60歳代	65	36.1%
70歳代	2	1.1%
無回答	0	0.0%

③居住地

居住地については、
人口割合に応じてアンケートを
配布した。
件数は右表のとおり。

n=180(SA)

	件数	割合
折戸1丁目	9	5.0%
折戸2丁目	11	6.1%
折戸3丁目	8	4.4%
折戸4丁目	10	5.6%
折戸5丁目	11	6.1%
折戸	16	8.9%
三保	115	63.9%
無回答	0	0.0%

2. アンケート調査結果：単純集計

①まち並みの変化

問1 富士山が世界文化遺産に登録されて以降、構成資産の1つである三保松原が位置する三保半島のまち並みに変化は感じられますか。(1つのみ)

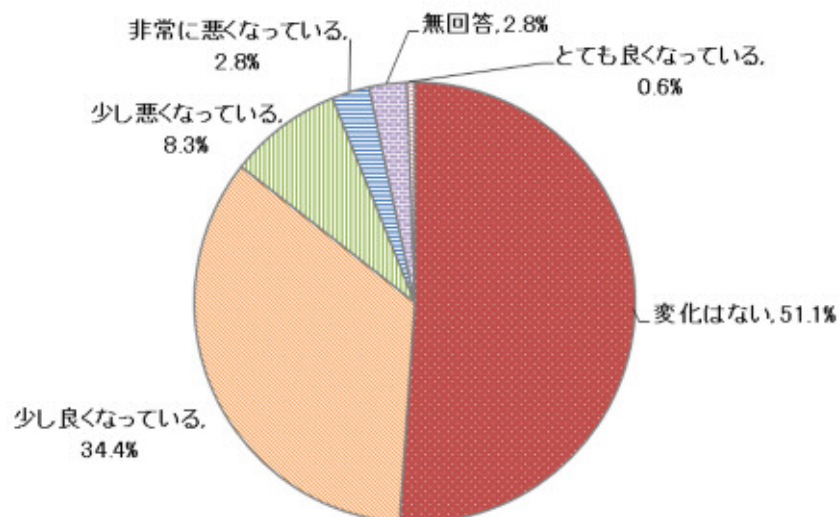
まち並みの変化については、「変化はない」が51.1%と最も高く、次いで「少し良くなっている」が34.4%、「少し悪くなっている」が8.3%となっている。

○「変化はない」が51.1%で最も高い

○「少し良くなっている」が34.4%で他の項目と比較して高い

n=180(SA)

	件数	割合
変化はない	92	51.1%
少し良くなっている	62	34.4%
少し悪くなっている	15	8.3%
非常に悪くなっている	5	2.8%
無回答	5	2.8%
とても良くなっている	1	0.6%



②まち並みづくりに取り組むべき路線

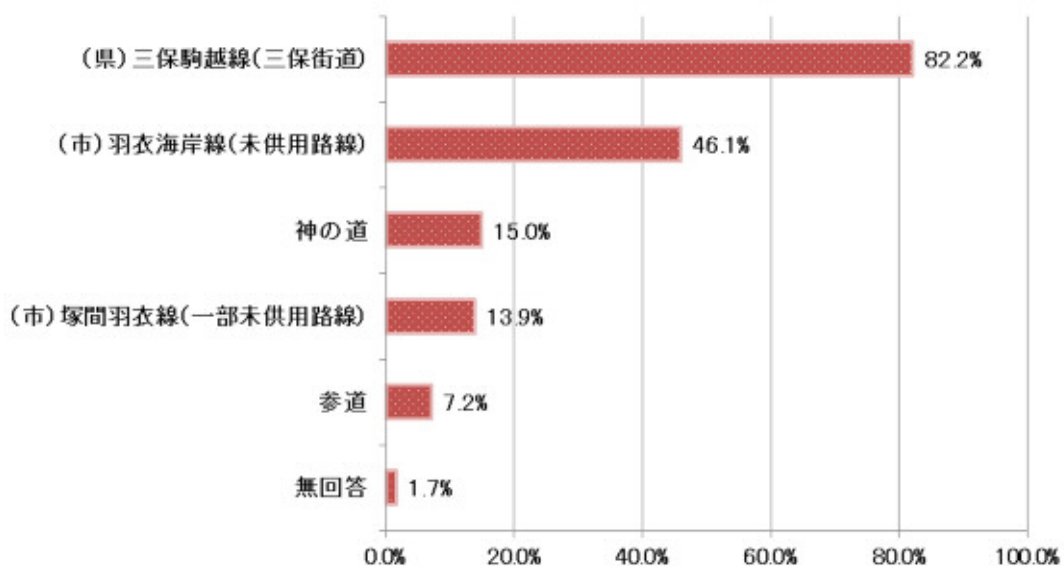
問2 今後、三保半島のまち並みをより良くしていくために、以下の5つの三保半島の主要道路沿道のうち、特に積極的にまち並みづくりに取り組んでいく必要がある路線をお選びください。(2路線まで)

まち並みづくりに取り組むべき路線については、「(県)三保駒越線(三保街道)」が82.2%と最も高く、次いで「(市)羽衣海岸線(未供用路線)」が46.1%、「神の道」が15.0%となっている。

- 「(県)三保駒越線(三保街道)」が82.2%で最も高い
- 「(市)羽衣海岸線(未供用路線)」が46.1%で他の項目と比較して高い

n=180(MA)

	件数	割合
(県)三保駒越線(三保街道)	148	82.2%
(市)羽衣海岸線(未供用路線)	83	46.1%
神の道	27	15.0%
(市)塚間羽衣線(一部未供用路線)	25	13.9%
参道	13	7.2%
無回答	3	1.7%



③ (県) 三保駒越線 (三保街道) の信号や照明灯の色彩

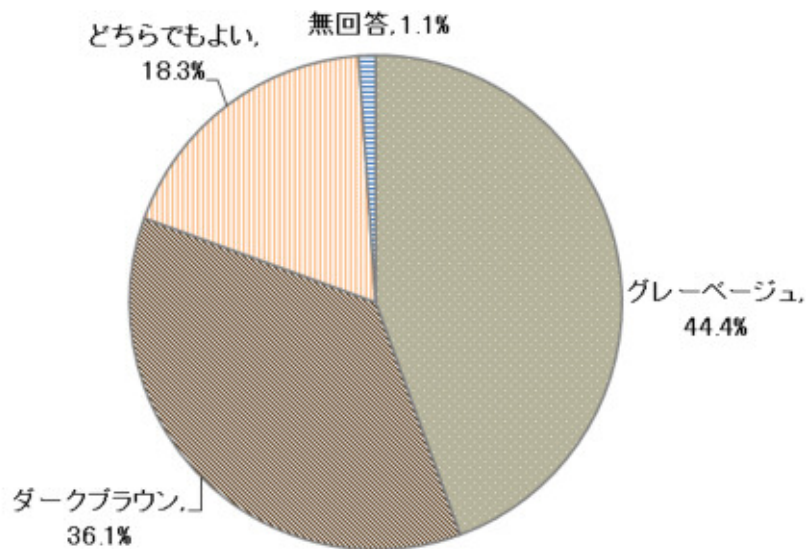
問3 (県) 三保駒越線 (三保街道) は、今後、道路拡幅が予定されています。その際、信号や照明灯の色彩として望ましいイメージをお答えください。(1つのみ)

(県) 三保駒越線 (三保街道) の信号や照明灯の色彩については、「グレーベージュ」が44.4%と最も高く、次いで「ダークブラウン」が36.1%となっている。

- 「グレーベージュ」が44.4%で最も高い
- 「ダークブラウン」が36.1%で「グレーベージュ」と大きな差はない

n=180(SA)

	件数	割合
グレーベージュ	80	44.4%
ダークブラウン	65	36.1%
どちらでもよい	33	18.3%
無回答	2	1.1%



④沿道の建物や看板のあり方として望ましいイメージ

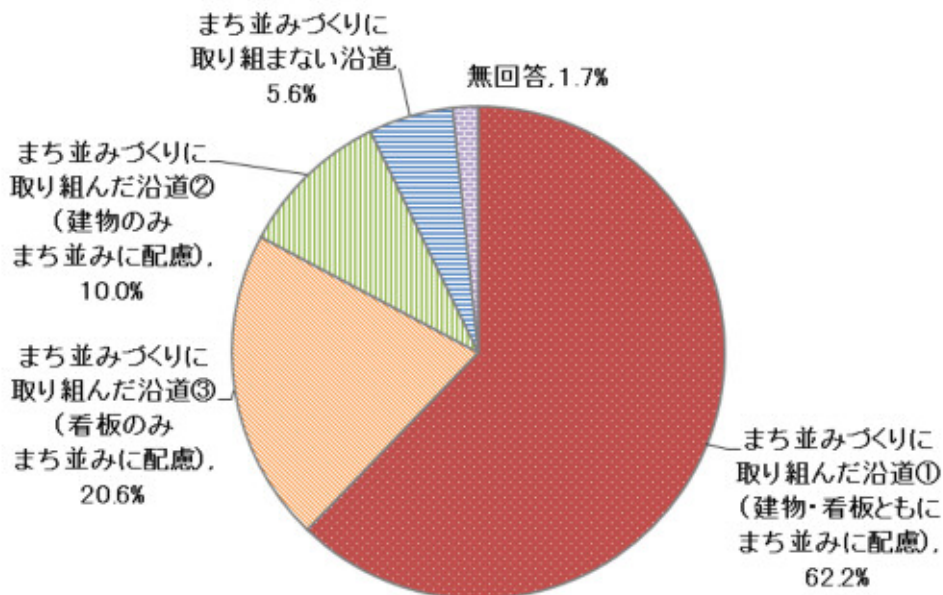
問4 今後、三保半島のまち並みをより良くしていくために、
沿道の建物や看板のあり方として望ましいイメージをお答えください。
(1つのみ)

沿道の建物や看板のあり方として望ましいイメージについては、
「まち並みづくりに取り組んだ沿道①（建物・看板ともにまち並みに配慮）」が 62.2%で最も高く、次いで「まち並みづくりに取り組んだ沿道③（看板のみまち並みに配慮）」が 20.6%、
「まち並みづくりに取り組んだ沿道②（建物のみまち並みに配慮）」が 10.0%となっている。

○「まち並みづくりに取り組んだ沿道①（建物・看板ともにまち並みに配慮）」が 62.2%で最も高い

n=180(SA)

	件数	割合
まち並みづくりに取り組んだ沿道① (建物・看板ともにまち並みに配慮)	112	62.2%
まち並みづくりに取り組んだ沿道③ (看板のみまち並みに配慮)	37	20.6%
まち並みづくりに取り組んだ沿道② (建物のみまち並みに配慮)	18	10.0%
まち並みづくりに取り組まない沿道	10	5.6%
無回答	3	1.7%



(2) 三保半島のまち並みづくりに関するルールの必要性について

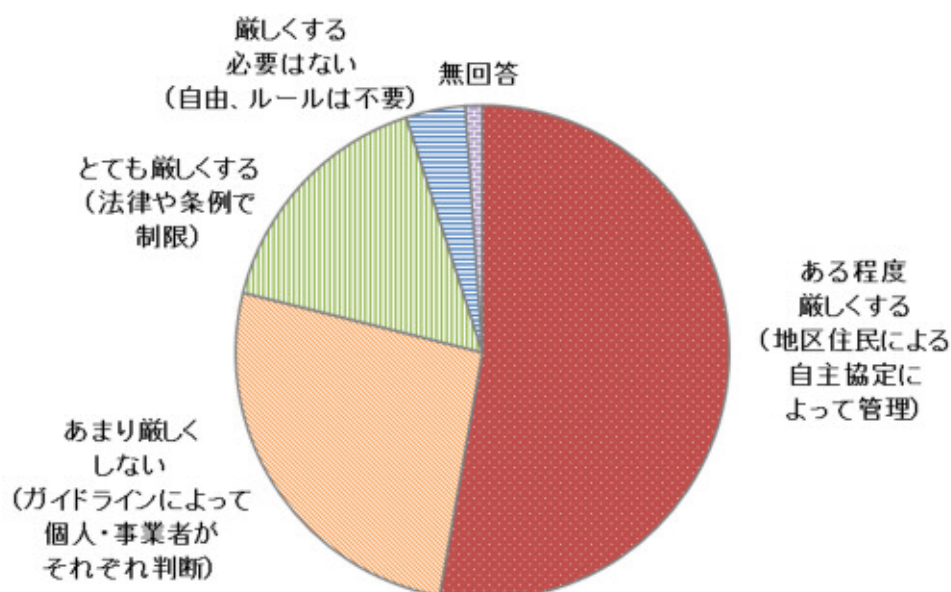
①建物や看板のルールの強制力

問5 三保半島のまち並みをより良くしていく上で、建物や看板に関するルールの強制力はどの程度が妥当だと考えますか。(1つのみ)

建物や看板のルールの強制力については、「ある程度厳しくする(地区住民による自主協定によって管理)」が52.8%で最も高く、次いで「あまり厳しくしない(ガイドラインによって個人・事業者がそれぞれ判断)」が26.1%、「とても厳しくする(法律や条例で制限)」が16.1%となっている。

○「ある程度厳しくする(地区住民による自主協定によって管理)」が52.8%で最も高い

	件数	割合
ある程度厳しくする(地区住民による自主協定によって管理)	95	52.8%
あまり厳しくしない(ガイドラインによって個人・事業者がそれぞれ判断)	47	26.1%
とても厳しくする(法律や条例で制限)	29	16.1%
厳しくする必要はない(自由、ルールは不要)	7	3.9%
無回答	2	1.1%



②配慮内容が必要な内容（建物）

問6 問5で「1～3」に回答した方はお答えください。

建物や看板のルールのうち、それぞれ特に配慮が必要な内容をお答えください。

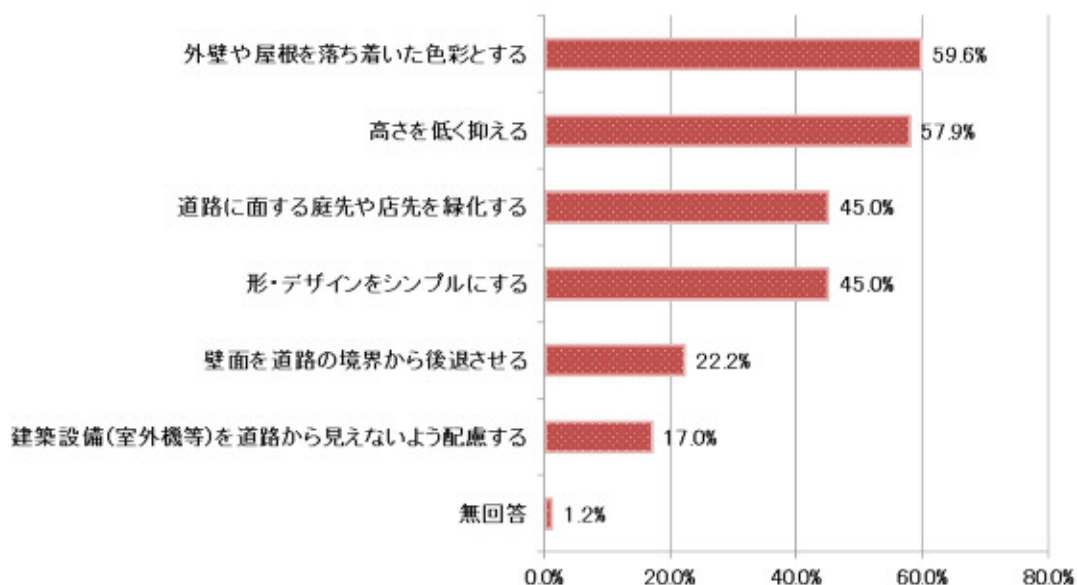
問6-1 建物（上位3つまで）

建物で配慮が必要な内容については、
「外壁や屋根を落ち着いた色彩とする」が59.6%で最も高く、
次いで「高さを低く抑える」が57.9%、
「形・デザインをシンプルにする」と「道路に面する庭先や店先を緑化する」が45.0%と
なっている。

- 「外壁や屋根を落ち着いた色彩とする」が59.6%で最も高い
- 「高さを低く抑える」が57.9%で
- 「外壁や屋根を落ち着いた色彩とする」ほぼ同程度の割合となっている

n=171 (MA)

	件数	割合
外壁や屋根を落ち着いた色彩とする	102	59.6%
高さを低く抑える	99	57.9%
道路に面する庭先や店先を緑化する	77	45.0%
形・デザインをシンプルにする	77	45.0%
壁面を道路の境界から後退させる	38	22.2%
建築設備（室外機等）を道路から見えないよう配慮する	29	17.0%
無回答	2	1.2%



③配慮内容が必要な内容（看板）

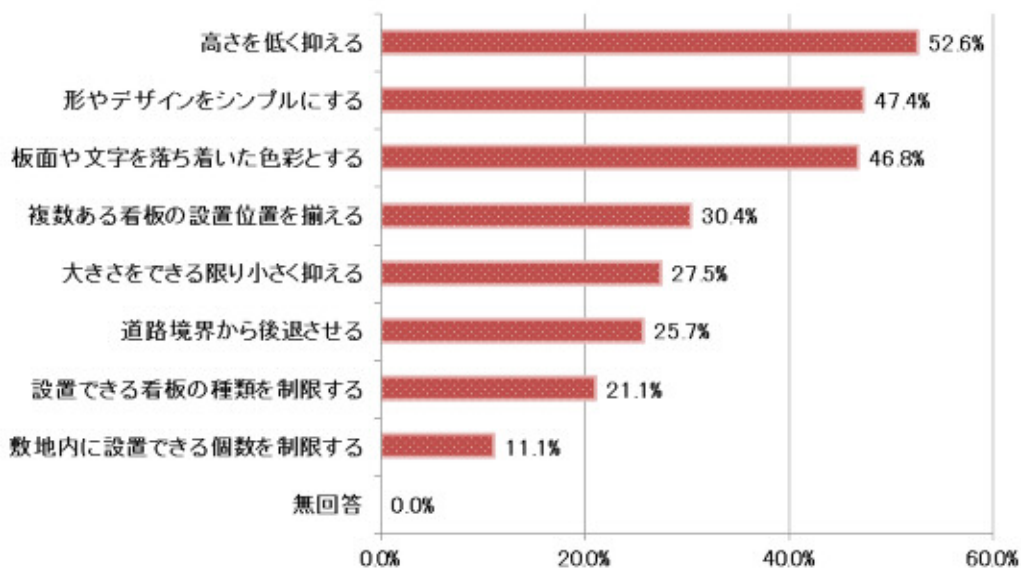
問6-2 看板（上位3つまで）

看板で配慮が必要な内容については、「高さを低く抑える」が52.6%で最も高く、次いで「形やデザインをシンプルにする」が47.4%、「板面や文字を落ち着いた色彩とする」が46.8%となっている。

- 「高さを低く抑える」が52.6%で最も高い
- 「形やデザインをシンプルにする」と「板面や文字を落ち着いた色彩とする」が4割以上となっており、他の項目と比較して高い

n=171 (MA)

	件数	割合
高さを低く抑える	90	52.6%
形やデザインをシンプルにする	81	47.4%
板面や文字を落ち着いた色彩とする	80	46.8%
複数ある看板の設置位置を揃える	52	30.4%
大きさをできる限り小さく抑える	47	27.5%
道路境界から後退させる	44	25.7%
設置できる看板の種類を制限する	36	21.1%
敷地内に設置できる個数を制限する	19	11.1%
無回答	0	0.0%



(3) 三保半島のまち並みづくりについて

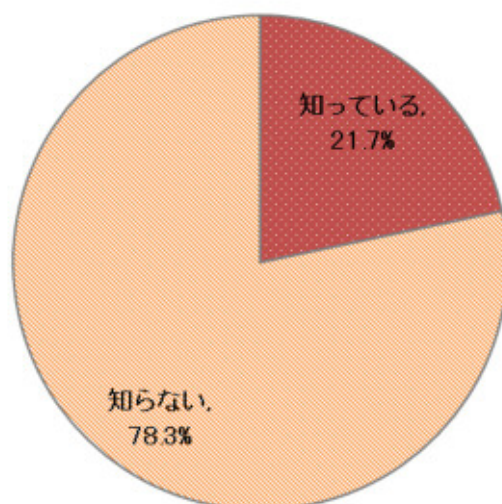
①景観形成ガイドライン作成の取り組みの認知度

問7 市では、将来の三保半島のまち並みについて、基本的な考え方や配慮内容を示し、まち並みについてのルールを検討する際の手引となる景観形成ガイドラインを作成しています。この取り組みについてご存じですか。(1つのみ)

景観形成ガイドライン作成の取り組みの認知度については、「知らない」が78.3%と高くなっている。

○「知らない」が78.3%で最も高い

n=180(SA)		
	件数	割合
知っている	39	21.7%
知らない	141	78.3%
無回答	0	0.0%



②景観形成ガイドライン作成の取り組みを知った機会

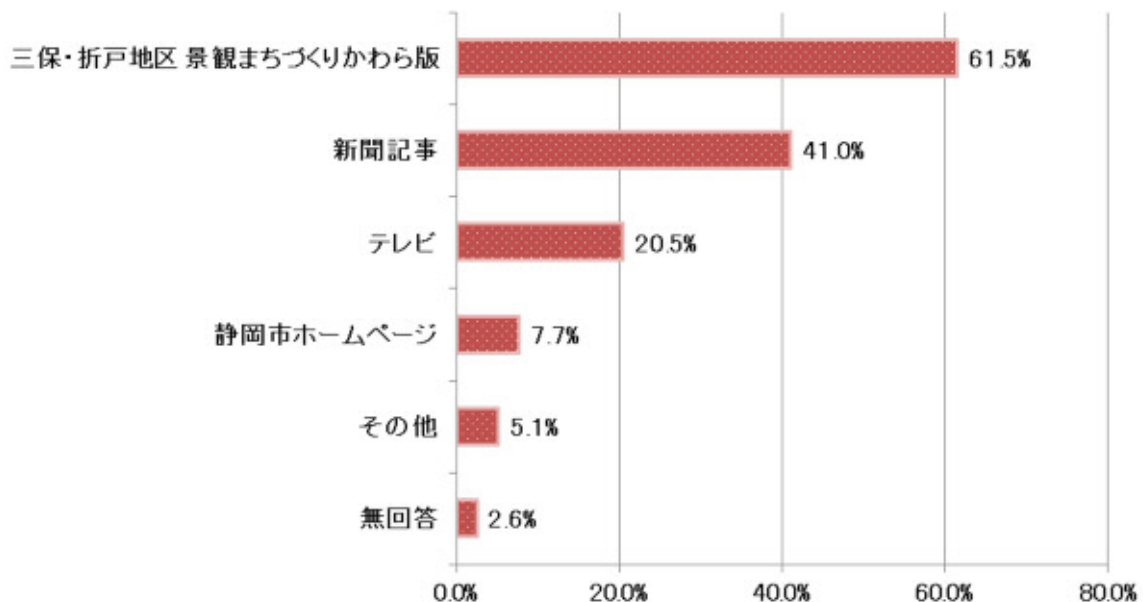
問8 問7で「1」に回答した方はお答えください。
 どのような機会にお知りになったかお答えください。
 (あてはまるものすべて)

景観形成ガイドライン作成の取り組みを知った機会については、
 「三保・折戸地区 景観まちづくりかわら版」が61.5%で最も高く、
 次いで「新聞記事」が41.0%、「テレビ」が20.5%となっている。

- 「三保・折戸地区 景観まちづくりかわら版」が61.5%で最も高い
- 「新聞記事」が41.0%で他の項目と比較して高い

n=39(MA)

	件数	割合
三保・折戸地区 景観まちづくりかわら版	24	61.5%
新聞記事	16	41.0%
テレビ	8	20.5%
静岡市ホームページ	3	7.7%
その他	2	5.1%
無回答	1	2.6%



③まち並みづくりで協力したい、参加したい内容

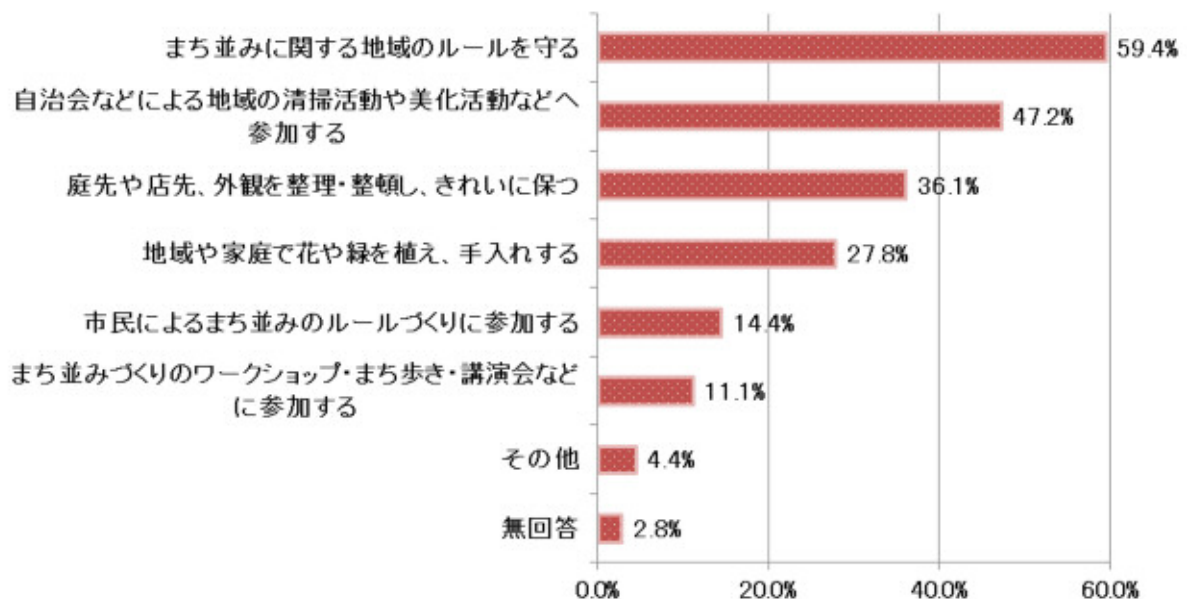
問9 三保半島のより良いまち並みづくりを行うための活動として協力したい、参加したい内容についてお答えください。(あてはまるものすべて)

まち並みづくりで協力したい、参加したい内容については、「まち並みに関する地域のルールを守る」が59.46%で最も高く、次いで「自治会などによる地域の清掃活動や美化活動などへ参加する」が47.2%、「庭先や店先、外観を整理・整頓し、きれいに保つ」が36.1%となっている。

○「まち並みに関する地域のルールを守る」が59.4%で最も高い

n=180(MA)

	件数	割合
まち並みに関する地域のルールを守る	107	59.4%
自治会などによる地域の清掃活動や美化活動などへ参加する	85	47.2%
庭先や店先、外観を整理・整頓し、きれいに保つ	65	36.1%
地域や家庭で花や緑を植え、手入れする	50	27.8%
市民によるまち並みのルールづくりに参加する	26	14.4%
まち並みづくりのワークショップ・まち歩き・講演会などに参加する	20	11.1%
その他	8	4.4%
無回答	5	2.8%



④ルール等の検討の場への参加意向

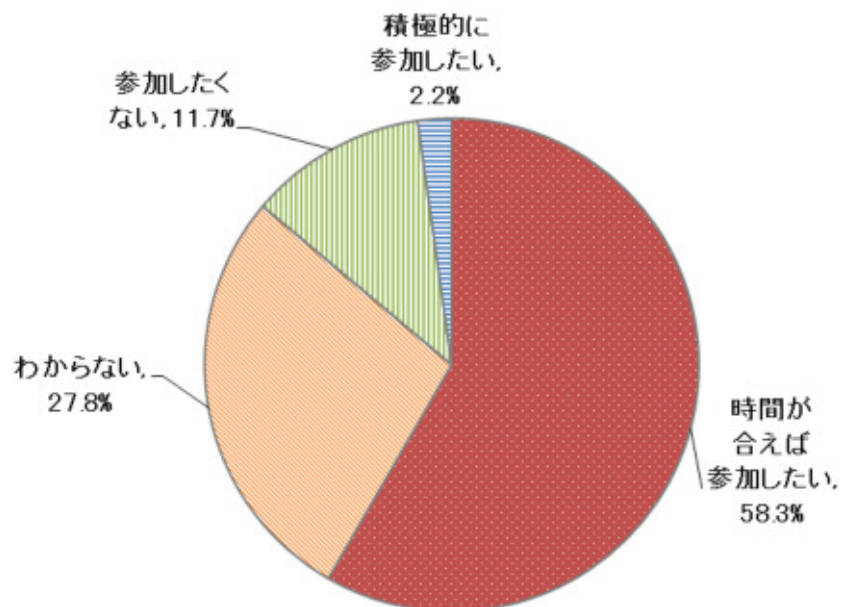
問 10 市では、来年度以降、住民の皆さんが主体となってまち並みに関するルール等を検討できる場を設けていきたいと考えています。

そういった場に参加したいとお考えですか。(1つのみ)

ルール等の検討の場への参加意向については、「時間が合えば参加したい」が58.3%で最も高く、次いで「わからない」が27.8%、「参加したくない」が11.7%となっている。

○「時間が合えば参加したい」が58.3%で最も高い

n=180(SA)		
	件数	割合
時間が合えば参加したい	105	58.3%
わからない	50	27.8%
参加したくない	21	11.7%
積極的に参加したい	4	2.2%
無回答	0	0.0%



⑤ルール等の検討の場に参加するのに都合の良い日時

問11 問10で「1～2」に回答した方はお答えください。

参加するのにご都合の良い曜日や時間帯をお答えください。

(あてはまるものすべて)

ルール等の検討の場に参加するのに都合の良い日時については、「平日の夜間」が42.2%で最も高く、次いで「土日祝日の午前」が26.6%、「土日祝日の午後」と「土日祝日の夜間」が13.8%となっている。

○「平日の夜間」が42.2%で最も高い

n=109(MA)

	件数	割合
平日の夜間	46	29.7%
土日祝日の午前	29	18.7%
土日祝日の午後	15	9.7%
土日祝日の夜間	15	9.7%
平日の午前	11	7.1%
平日の午後	9	5.8%
その他	6	3.9%
無回答	1	0.6%

